



# シャロンの花

## 同窓会報

第 18 号

### 平成26年度総会・懇親会のお知らせ

日 時 **5月17日** (土) 総 会 午後 2 時～ (受付 1 時30分～)  
懇 親 会 午後 3 時～ (受付 2 時30分～)

場 所 三井ガーデンホテル千葉 (千葉パルコ前)  
☎ : 043-224-1131

会 費 **7,000円** (当日受付にてお支払いください)

懇親会だけの出席も大歓迎です。恩師の先生方も多数ご出席いただいております。本年は昭和48年卒高校第25回生の皆さんが幹事団を組んで取り組みますが、卒業生はどなたでも出席できますので、お誘い合わせの上ご来場下さい。お問合せ・お申込みは、5月10日までに同窓会事務局(☎:043-251-9221)へ。

「シャロンの花」は校歌の歌い出しです。

昭和26年、創立10周年記念に沢田繁二教頭先生が作詞され、制定されました。この校歌は、他校にはない美しい響きを持つ詩で綴られています。同窓会報を創刊するにあたり、懐かしい言葉「シャロンの花」をタイトルにいたしました。

シャロンは、イスラエル西部の地名です。その地に咲く白い可憐なシャロンの花は、旧約聖書で「純潔」の象徴とされています。

平成26年3月7日発行

(表紙タイトル・イラストデザイン 昭和35年卒 北川広志)

発行者	千葉県立千葉東高等学校	編集者	千葉県立千葉東高等学校同窓会事務局内
	同窓会会長 井戸川 浩		〒263-0021 千葉市稲毛区轟町1-18-52
			TEL 043-251-9221 FAX 043-255-6575

印刷所 (株)宮坂印刷 TEL 043-251-4537 FAX 043-251-4535

## 同窓会報「シャロンの花」 第18号発刊ご挨拶

千葉県立千葉東高等学校同窓会  
会長 井戸川 浩  
(高校第11回S34卒)



同窓会会員の皆様並びに恩師の先生方お元気でお過ごしのことと思います。

また、本年卒業された皆さんを新たな会員としてお迎えするにあたり心から歓迎の意を表したいと思います。

会報「シャロンの花」第18号をお届けいたします。

母校は、創立80周年に向かって着実に歩んでおりますが、世界は益々混沌の度を深めてまいりました。



## ご挨拶

同窓会名誉会長(学校長)  
渡邊 茂通  
(高校第24回S47卒)

同窓会会員の皆様におかれましては、日頃より母校の教育活動に多大な御理解と御協力をいただき、心より御礼を申し上げます。

平成23年度に始まりました学級増は、平成26年度で全学年が9学級に揃い、27学級となります。学級増にもかかわらず、本校への志願者数(倍率)は一向に下がる様子も見られず、中学生には大変に魅力のある高校と評価されているのは喜ばしい限りです。これも在校生を始め、保護者、教職員、卒業生など本校に関わるすべての人々の不断の努力の結果だと言えます。

所帯を大きくしての新たなスタートが、充実した教育活動の継続と、本校のさらなる発展に繋がるように、多角的な取り組みを一層推進してゆくつもりでおります。今年度を振り返ると、

- ① 千葉大学教育学部との高大連携事業として「基礎教養講座」の受講、大学生と共に授業を受けるHOC(ハイスクールオンキャンパス)、科学技術振興機構からの支援を受けたSPP(サイエンスパートナーシッププログラム)などの活動。
- ② 国際交流事業として、7月にメキシコ文化交流団の高校生受け入れ、日韓高校生交流キャンプへ日本チームの一員として参加、大阪で開催された「ユネスコアジア・太平洋地域高校生ESDフォーラム」に関東地区代表として参加し、多方面にわたって活動しました。年が明けて3月の海外派遣も米国に加えて、新たに豪州にも派遣することになります。また、平成26年11月には、岡山で行われる「ユネスコスクール世界大

同窓生の皆さんは、こうした時勢のなかで現役・退役を問わず理知的で健全かつ堅実な日常生活を送られていることと思います。そうした中、同窓生の心のふるさとを自認する同窓会報「シャロンの花」が脆弱な財政基盤の中でもコツコツ発行できたのも、母校愛あふれる同窓生の皆様からの継続的な寄付のお陰と心から感謝申し上げます。

また、日々の活動を支えて下さった校長先生をはじめ諸先生方のご尽力にも厚くお礼申しあげます。

どうか、今後も発展する母校の後援会として、同窓会活動を積極的にご支援いただきますとともに、会報「シャロンの花」をご愛読下さい。

会高校生フォーラム」に日本代表として参加することが予定されているなど、現代社会のグローバル化に即した高校生の育成や、活動の拡充に力を注いでいます。

一方、地域に根ざした“知と文化”の拠点として地元から信頼される学校をめざし、保育所との交流や、西千葉や稲毛の地域イベントにも積極的に参加し、地域交流を進めています。

- ③ 部活動では、陸上部のインターハイや関東大会出場、山岳部のインターハイ出場、水泳部の関東大会、囲碁同好会の全国高文連出場などを始めとして、皆様の若き後輩達は、日々努力に励み、苦しさに耐えて得られる深い喜びを感得し、自己を成長させております。

生徒達がこうした活躍ができるのも、同窓会の皆様の深い母校愛と、絶大な御協力のおかげと感謝しています。

私ども教職員は、千葉東高校の益々の発展のため、これからも全力を尽くしますので、同窓会の皆様におかれましては、ますますの御活躍を祈念し、今後とも変わらぬ御支援をくださいますよう、お願い申し上げます。

パソコンの設定・ホームページ作成・ホームページレンタルなど……パソコン・ネットワーク関係

お気軽にご相談下さい。

# ネットオフィス K

代表/加藤光也(昭和54年卒)

fax: 047-404-6429

URL: www.office-k.net

連絡先メールアドレス: infonigashi@kumasan.nu

# 校訓 「明朗・真剣・錬磨」

この校訓は、平成23年から70周年記念事業の一環として、本校としての特色ある教育の姿、目標となる生徒の姿を明確にするために、「将来像検討委員会」の先生方を中心に検討されてきました。

実は、この校訓は、昭和16年（1941年）に創立された当時から初代学校長 滝 熊之介先生（前 千葉県視学官）によって制定されており、故安塚旭洞先生が揮毫された扁額もあったそうですが、終戦・移転・火災等で物的にも記録的にも散逸の憂き目にあってしまいました。

そこで、改めてこの創立当時の校訓の狙いとするところを再検討した結果、現代にも未来にも通じる普遍性のある校訓であると評価され、復活再制定することが平成24年11月12日に職員会議で決定されたものであります。

この校訓を記憶されている卒業生も多数おられることと思いますが、「東高魂」を具現するこの校訓の狙いとするところを若い同窓生の皆さんにもこの機会に是非知っていただきたいと思ひます。



母校玄関に同窓会より寄贈した額  
(揮毫 高橋敏行先生 高校第28回S51卒)

## 平成25年度 千葉県立千葉東高等学校同窓会総会報告

平成25年度同窓会総会・懇親会が平成25年 5月25日（土）千葉市の京成ホテルミラマーレで開催されました。

**黙禱：**開会に先立ち、お亡くなりになった先生方や卒業生、同窓会常任理事大森啓護氏（5月24日逝去）のご冥福を祈り、黙禱を捧げた。

**ご出席いただいた先生方（敬称略）**

山田隆良先生、高野だいわ先生、氏家憲二先生、青山 克先生、水野 澄先生、須藤信夫先生

**義事：**会長、名誉会長、来賓の先生からの挨拶のあと、

用意された議事は滞りなく議決された。尚、新年度ではこれまで以上に母校に対し、多方面にわたる支援を行うことが確認され、そのための寄付拡大が一層重要だと衆議一決した。

**懇親会：**本年の年度幹事である高校第24回生昭和47年卒の重田、小村、福本氏を始めとする各クラスの皆さんがたが、前年の総会（H24.5.19.）で引き継ぎ式をしたのち多くの打ち合わせを重ね、同年次の団結と懇親会の盛り上げを旨に周到に準備したものでした。ご尽力に対し心からの謝意を表するものであります。





懇親会

次年度幹事引き継ぎ：平成26年度の年度幹事は高校第25回S48卒の佐久間陽一氏、高橋澄夫氏、奥村兼弘氏を中心とする皆さんで進めていただくことになりました。盛会を祈ります。

尚、毎年の年度幹事の主な仕事について当年度幹事の渡邊茂通氏（高校第24回S47卒）にまとめていただきました。今後のご参考に供していただければ幸いです。



引き継ぎ式

年度幹事の主な仕事：

千葉東高等学校長の渡邊茂通です。平成23年度に本校に赴任し、同窓会総会・懇親会の幹事の業務を知りました。幹事は当番制となっており、還暦を迎える60歳の年次が当番となり、懇親会の仕切り一切を担当します。

早速、クラス幹事を決める業務に取り掛かりました。そうした中で、幹事長を重田さん、副幹事長を小林さん、福本さんをお願いしました。最初の顔合わせとして、前年度（平成24年 5 月12日）に行われた同窓会総会・懇親会に 9 クラスの幹事が出席しました。懇親会の中で昭和46年度卒幹事長より昭和47年度卒幹事長に襷の引継式があり、幹事の業務が始まりました。

ちなみに、懇親会参加人数は、H21-120名、H22-200名、H23-190名、H24-156名、H25-152名です。

当日の業務は、受付係、会計係、会場案内係、進行係があります。懇親会では、司会、開会の言葉、乾杯の発声、校歌の指揮、次年度幹事への襷の引継ぎを担当します。代表幹事（幹事長、副幹事長）は、千葉東高校同窓会役員会（毎月第 2 土曜日14時～）に出席、本部役員との連絡調整を図る業務があります。

開催まで計13回の幹事会を行いました。そして、詳細な内容につきましては、同窓会役員会の席上で次期幹事に資料として手渡されました。

「平成25年度千葉県立千葉東高校同窓会総会・懇親会」は、幹事の御尽力により、盛会のうちに滞りなく進行いたしました。幹事、本部役員、そして、御出席の皆様方

に心から感謝いたします。

参考までに当日の概要とタイムスケジュールをお知らせします。

「平成25年度千葉県立

千葉東高校同窓会総会・懇親会」の概要

- (1) 日 時 平成25年 5 月25日（土）
  - 総 会 午後 2 時30分から（受付開始 2 時00分から）
  - 懇親会 午後 3 時30分から（受付開始 3 時00分から）
- (2) 会 場 平成ホテルミラマーレ 6 階ローズルーム
- (3) 会 費 7,000円
- (4) 参加者
  - 総 会 33名
  - 懇親会 33名+119名 → 152名
  - （内訳）47年卒97名、45年卒 1 名、46年卒 8 名  
48年卒10名、他 3 名 計119名

タイムスケジュール

- 13時30分 係集合 47年卒業生
- 13時45分 役員集合
- 14時00分 総会受付開始
- 14時30分 開会 会長挨拶、名誉会長挨拶、来賓挨拶、紹介、議事
- 14時45分 記念撮影
- 15時00分 閉会
- 15時00分 懇親会受付開始
- 15時30分 開会 会長挨拶、名誉会長挨拶、来賓挨拶
- 16時00分 乾杯 懇談、記念撮影
- 17時20分 校歌斉唱
- 17時25分 次期幹事への引継式
- 17時30分 閉会

ギャレックスチバ株式会社

代表取締役 澤田繁信（昭46年卒）

千葉市中央区今井3-1-9

[TEL] 043-261-4528

[FAX] 043-265-5446

[mail] info@galaxchiba.jp



オリジナルマーキングは当社へ



# 秋の叙勲 恩師二人 瑞寶小綬章 受章

平成25年秋の叙勲に母校恩師お二方が受章という朗報がありました。

ここに心からのお祝いを申し上げ、規定により同窓会からささやかながらお祝い金をさしあげました。

受章された先生方から喜びのおことばを頂きました。

## 元校長 長妻孝治先生

(H9～H11)

このたび、平成25年の秋の叙勲により瑞寶小綬章を受章しました。私としては予期せぬ受章であり、身に余る光栄に感激しています。

振り返ってみると、これはひとえにこれまでに会った方々のご支援、ご指導の結果であり、いま、ありがたく心よりお礼申し上げたい心境である。

また、同窓会には、在職中から学校施設の充実をはじめ大変お世話になり、いままたお祝いしていただき誠にありがとうございます。同窓会のますますの発展を祈ります。



## 元教諭 井下田 博先生

(S28～S41本校勤務の後

銚子商業高校長、船橋芝山高校長、成東高校長)

平成25年11月1日。内閣府賞勲局から「瑞寶小綬章」授与の内示があり、大変名誉なこととありがたくいただきました。

ました。

先ずは、長年支えてくれた妻に一番感謝している旨を伝え、ともに喜んでもらった。

また、恩師畠山一郎先生の奥様から「主人が生きていたら、とても喜んだことでしょう」と私の身の丈の半分ほどもある蘭の花を、お祝いとしていただいた。

正装して亡き畠山先生の墓前に受章のご報告ができたことが、私の最大の喜びであった。

また、長年私を支えてくれた教え子に恵まれたことも感謝!! 更に、東高同窓会からもお祝いしていただき、感謝に堪えません。同窓会がますます発展するように祈っています。

## 母校支援

### 国語科準備室（職員室）に流し台設置

母校は各学年9クラス化、全学年で27クラスと規模の拡大に伴い、先生方の人数も事務を除く教員数も75名と増加しています。

従って、これまでのように「職員室」と呼ばれる大部屋には入りきれなくなってまいりました。

そこで、通信課程移転後の空き教室の再利用等で、各科目別職員控室（母校では「〇〇科準備室」といっています）が校内に分散して設置されています。

当然ながら、専用の控室ではないので、水利や湯沸かし用のガス配管はありません。

今回、新たに国語科準備室が設置されましたが、手洗い・ウガイ・食器洗い用の水道配管や流し台がなく、県の予算もつきにくいいため、同窓会から設備寄贈をいたしました。

#### 国語科 深瀬先生のコメント

このたび、同窓会のお陰で念願の水道がつき大変あり

がとうございます。

いままでは、食器を洗うにもトイレの水場を使っていたので、とても気持ちよく使わせていただいております。

同窓生の皆様のお心遣いに国語科職員一同感謝しております。ありがとうございました。



### 図書室増強について取り組みます

去る12月7日の同窓会役員会の席上、渡邊校長先生から「図書室の増強についてご協力願えないか」という要望が出されました。

蔵書の拡充は、基本的には千葉県の厳しい財政と関係しており、右から左へ購入要望が通るわけではありません。

また、蔵書の増加に伴い、書架が不足がちになったの

に伴い、これまでも同窓生の中にはご記憶の向きもあろうかと思いますが、生徒が卒業時に書架やテーブルを寄贈してきたという経緯があります。

そこで、早速、役員会で審議した結果、財政は厳しいが生徒の「知の拠点」である母校図書室の増強に資するために、今年度は10万円を準備し、継続的に同窓生の支援をも求めようということになりました。

「増強」の基本は蔵書の拡充・設備の導入、更新などでありましょうが、母校の現状はどうかということで、関係者の意見を聞いてみました。(2014.1.21取材)



八鍬さん

池田先生

香取君

図書室ご担当 池田先生のコメント

- 同窓会からの支援は思いもよらぬことで感謝してもしきれないほどありがたいです。
- 蔵書はいくらあってもありがたい。一般に基本図書といわれている岩波文庫や岩波新書はそろえてあるが、古くなったりして補強・補充が必要になっています。
- 図書室の耐震化工事が向こう一年間かかるので、当面ややせまいプレハブ教室に移転します。今でも書架が不足しており、目下は段ボールに格納して積み上げている実情だが、工事完成後は、書架の増設が必要になると見込んでいます。
- 蔵書のほかに、授業等で使われるプロジェクターなどの視聴覚機器やCDなどのソフト教材が不足しており、生徒がビジュアルなデータで臨場感のある教材を

活用できないので、課題になっています。

- 昨年、生徒が自宅で不要になった本を集め、東雲祭で「古書販売」をしたが好評だった。(先輩の)同窓生からの寄贈があれば大変ありがたい。

図書委員会副委員長 2年 香取俊平くんのコメント

- 図書委員会で年2回発行する「図書館広報」を通じて「図書室に行こうキャンペーン」は常時やっているが、友人たちからは「全集ものばかりが並んでいると敷居が高い。小説とか娯楽性のあるものなどの書籍があると良い」などの声があるので、それも増強したい。

図書委員会副委員長 1年 八鍬 葵さんのコメント

- 女性徒からも同様に、もう少し肩の凝らない本が充実していると(図書室に)行きやすいという声があります。

同窓生からの図書の寄贈をお願いします。

生徒の多ジャンル分野の図書へのアクセスのために、同窓生からの不要本の寄贈を受け付けます。

- 高校生にとって有益だと思われる本を送ってください。(新本・古本を問いません)
- 古本の場合、マーカーなどの線があるとか、書き込みのあるものはご遠慮ください。
- 本の内容によって図書室蔵書入りするものと、東雲祭での古本販売に行くものと分けますが、分け方は母校図書室・図書委員にお任せ下さい。
- 寄贈図書の宛先は

〒263-0021

千葉県稲毛区轟町1丁目18-5 2

千葉県立千葉東高等学校 図書室 宛

電話 043-251-9221

尚、誠に恐縮ですが予算がないので送料着払いにご遠慮申し上げます。万一、お送りいただいても受け取り拒否になりますのでご了承願います。

あなたが住みたい町のアパート・マンション  
お部屋探しを応援します!!

ISO9001認証 千葉県知事免許(10)5206号  
株式会社 高品ハウジング  
同窓会副会長・県議会議員 山中 操  
千葉県若葉区高品町1585-1 ☎ 043-232-0006 原簿電話でQRコードを読み取ってください

ワークイデ  
お部屋探し

bayfm78 & 千葉テレビ 毎週日曜日 22:00~22:30  
当社提供『村口史子のグッドゴルフ』にて CM放送中

JR京葉線 蘇我駅東口前  
不動産のことならおまかせ!!

おかげさまで創業48年

不動産の売買・仲介  
賃貸借・総合管理  
ご相談下さい!!

堤 清司 (昭和53年卒)

三幸商事株式会社

TEL.043-263-3535 FAX.043(265)4488  
サンコーサントリー 〒260-0842  
千葉県中央区南町2-17-11  
http://www.sanko-shouji.co.jp

# 在校生 バンザイ!!

ことしも在校生は頑張っています。そのうちの一部をご紹介します。

## 音楽部・吹奏楽部・マンドリン部定期演奏会

### いとしき日々よ、Best Friend。

私はまたも足を運んでいた。卒業して早や20年、その後生まれた後輩たちの定演は、私に最も探し求めるべきものを示してくれる。

#### 3月30日 音楽部

現役部員20名、3年生は女子6名のみの構成だが、それでも声を合わせて一つのハーモニーを作るその健気さは変わらず。

第3部では記念すべき第30回とあって卒業生が68名も加わり、歌を通じた彼らの力強い絆を示した。練習に出られず無念な思いの卒業生も客席にいたようだが、そこには確かに全ての人の音楽部への愛があった。

#### 5月5日 吹奏楽部

第2部の寸劇では人魚姫が人間の世界を旅し、最初は自分が人間になることが幸せだと思い込むが、周囲の優しさに触れるうち、真の幸せが「ありのままであること」と気付く。その上で、ソロが目白押しの絢爛豪華な第3部へと続く。演奏する彼らも立場の違いから、さぞ互い

の感情が複雑に交錯しただろうが、この人魚姫のように真の幸せの存在を知り乗り越えていったに違いない。

#### 5月19日 マンドリン部

第3部では1年生演じるピーターパンの寸劇が、第4部では今や名物のラグビー部が彩りを添える。彼らは大人への階段の途中、ピーターと同じく自分の影を探し求めていざ知らず、演奏中に絶えずアイコンタクトを交わしてその存在を確かめ、道を一步步踏み締める。最後に演奏したのは「いとしき日々よ」、その涙を思えば、終演が遅いのも許してしまう。

私は定演で何度も、在校中の吹奏楽部への忘れ物を、あの仲間に入って取りに行きたい、という思いに駆られた。だがそれは叶うことなく、年齢を重ねる毎に遠ざかる。それでも必ず知るの、最高の思い出や響きを求める彼らの真摯な姿勢と、それをかつて経験したが故の自分の共感、そしてその日々を通して培われた人の強い絆の存在である。

いとしき日々も、Best Friendもある。それを思い出しに、またも定演に行こう。

(同窓会書記 市原 俊介 高校第45回H5卒)

### 【お知らせ】

平成26年度の定期演奏会は下記のとおり予定されております。奮ってご観覧下さい。

音楽部	……	平成26年3月28日	13:30開演	JR千葉駅前京葉銀行文化プラザ	音楽ホール	無料
吹奏楽部	……	平成26年5月4日	14:30開演	JR東千葉駅近く	千葉市民会館大ホール	無料
マンドリン部	……	平成26年5月11日	16:00開演	JR東千葉駅近く	千葉市民会館大ホール	300円

## 関 法律事務所

- ・法律相談 ・遺産相続
- ・不動産 ・顧問弁護士
- その他



弁護士・千葉県議会議員 **関 政幸**  
(1998年卒)

〒266-0031 千葉市緑区おゆみ野3-7-2-605  
TEL 043-291-5525 FAX 043-291-5526

人間生命の運動法則を研究する科学

## 千葉人間科学協会

理事長 **小塚興作** (高校第11回卒)  
千葉市若葉区桜木7-5-64

☎043-231-9215

## 2013東雲祭参観報告

(来場者5,000名を越えました)

## 古魂東在

8月31日(土)と9月1日(日)、好天に恵まれた中で東雲祭が開催された。第50回という節目を迎えるに相応しく、来場者は5,100名以上、昨年を10%以上上回った。混雑対策として3年生団体に整理券が導入されて2回目。3年生以外の団体に人が来づらくなったという昨年の反省からか、今年は3年生団体を普段の4階の教室に固定したのだが、廊下の混雑は一時身動きが取れないほどとなった。教室内の客席の整理では配慮がなされているものの、高齢の方や子供連れの方にも優しくなるにはまだ工夫が必要なようだ。

今年の3年生のミュージカルは、劇団四季で上演された演目が多くを占めた。「ライオンキング」や「オペラ座の怪人」など過去に何度か東雲祭大賞を受賞した人気演目がずらりと並び、さぞ演目に引張られる傾向が出てくるのかと思いきや、実際にはクラスによる表現の差が如実に出たようだった。

東雲祭大賞を受賞した3年3組「アイダ」では、敵対関係を超えて愛し合ったアイダとラダメスの葛藤を台詞の口調などでリアルに表現し、人の結集を象徴するかのような歌声やダンスの決めもびったり。

他のクラスも頑張っており、例えば3年8組「レ・ミゼラブル」では有名な「夢やぶれて」を折れそうな細かい歌声で表現していたのが印象的だったが、一方で照明の当て方が雑になるなど場面の描写が分かりにくくなるクラスがあったりした。恐らくそれは、どこまでその劇

に自分たちが没入できるか、どこまでその場面の意味を理解しているかの差なのだろう。

吹奏楽部の「すごいらしい」では、まだ楽器経験ほやほやも含まれる一年生の演奏の後で出てきたのは、二年生がステージいっぱいになり繰り返す足踏みと手拍子のリズムパフォーマンス。文字通り「すごいらしい」サプライズだった。

今回のテーマ「古魂東在」とは、本当に東雲祭の伝統をよく表している言葉だと思う。私が在籍していた20年前とは時代や文化、東高や生徒たちが置かれる環境が大きく変わっているが、学業や部活に忙殺される日常では表わしにくい自分の真の姿を、この希少な非日常の場で表現したい、という生徒たちの旺盛な欲求は、昔から全く変わっていないのだ。その中で、音楽などで有能な人が指導役として全体のレベルを底上げする一方で、内気な人が積極的に意見を出して周りを率いたり、感情控え目な人が演じる役にこれでもかと没入したり、無頓着そうな人が並外れた審美眼を発揮したり、運動部のエースが慎ましく縁の下で支えたりし、それがクラスで結集することにより、この時にしかない一つの作品が完成し、この時にしか訪れない来場者をも巻き込んで大きな感動を与えるのだ。

この時に東高に行けば、生徒たちの魂の自己表現に出会える。それは古くからの、多くの同窓生にも存在していたもの。それが東雲祭なのだ。

(同窓会書記 市原 俊介 高校第45回H5卒)



当日売り出された東高センベイ

# 国際交流米国派遣報告

引率教諭 及川 邦裕

平成25年3月17日(日)～3月28日(木)の日程でアメリカミシガン州クラークストン高校に15名(全て1学年女子生徒)を理科の青野多美枝教諭と共に引率しました。昨年度までは10名の派遣でしたが、より多くの生徒にホームステイを通して異文化



理解の機会を与えたいという趣旨で、約10年交流を継続しているミシガン州のクラークストン高校に、受け入れの人数を増やしていただきました。

3月17日の15時、見送りの保護者の方々が見守る中、成田空港で結団式を行い、ミシガン州デトロイト空港へ向けて出発しました。日本との時差が13時間あるため現地空港に着いたのは、出発の日時とほぼ同じ3月17日の15時頃でした。

空港ではホストファミリーやクラークストン高校のフェイ先生が横断幕を掲げて歓迎してくれました。空港からは、それぞれのホストファミリーの車で約1時間かけてホームステイの地へ向かいました。

私のホストファミリー宅は、湖のほとりにあり素晴らしい森と湖の絶景に囲まれています。今年はとても気温が低いらしく、一日の最高気温が0度という日もありました。目の前の湖は一面の水で、対岸へ歩くこともできます。

翌日の月曜日からは、朝7時過ぎに学校へ集合し、午前中はクラークストンの中学生に、午後は高校生に日本文化のプレゼンテーションを行います。今年度のプレゼンテーションのテーマは、「お正月」「節分」「昔の遊び」「書道」「高校生の1日」「ジブリと携帯」「食器」「箸」「お茶」「お弁当」でした。事前研修では数十時間のプレゼン資料作成と練習、そして使用する材料等を日本から運び、5日間毎日プレゼンテーションをします。

3月25日、クラークストン高校とホストファミリーに涙の別れをし、ニューヨークへ向かいました。セントラルパークから徒歩3分、カーネギーホールの向かいにあるウェリントンホテルで3泊します。国連ビル、エンパ

イアステートビル、自由の女神、タイムズスクエア、グラウンドゼロ、今年東京駅と姉妹駅協定を結んだグランドセントラル駅、ブロードウェイミュージカルの「オペラ座の怪人」を堪能して、ジョンFケネディ空港から成田へ到着したのは、3月28日夕刻でした。

千葉東高校では、毎年多くの生徒がこの国際交流米国派遣プログラムに関心を持ち、入学してきます。今年度は43名の希望があり面接とプレゼンテーションで選考しました。次年度はさらに国際交流活動を拡大し、オーストラリアにも派遣をします。

このような活動ができるのも、保護者の方々と同窓会のご理解とご支援があればこそのことと考えております。今後共、ご理解とご協力をお願いできれば幸いです。(注：同窓会は海外派遣中の生徒を引率する先生方に、公費負担の難しい生徒の発病や臨時移動など、予測できない費用の一部にあてるための手元金を餞別金としてお渡ししています。)

誇りある日本を、千葉から

衆議院議員 (稲毛区・美浜区・中央区)



田沼隆志

(平成6年卒)

〒263-0043 千葉市稲毛区小仲台4-14-8

TEL 043-253-9610

HP <http://tanuma.info>

FAX 043-253-7255

ブログ <http://ameblo.jp/tanuma>

twitter @tanumatakashi

メール [tanuma@tanuma.info](mailto:tanuma@tanuma.info)

# 卒業生バンザイ

卒業後、色々な場面で活躍している卒業生……。そのすべてをお知らせすることは難しいことですが、同窓会が把握した旬の動向をご紹介しますと思います。

前号（シャロンの花第17号）で卒業生の選良はいいどのくらいおられるのかということで、とりあえず千葉県を中心に調べましたところ、5人もの選良が現在ご

活躍中という事が分かり、これらの方々にご協力を得てひとこと母校・生徒・同窓会へコメントを頂きました。

ほかにまだ「議員さんをしておられる方がいませんか」と編集後記でも呼びかけましたところ、秋葉就一氏の情報がありました。

## 卒業生初の市長誕生！

去る2013年（平成13年）5月26日執行された八千代市長選挙において当選しました。

秋葉就一氏（高校第32回S62卒）

ここからお祝いを申し上げます。

## 母校 渡邊校長 千葉県教育功労者表彰受賞

母校の渡邊茂通校長（高校第24回S47卒）は平成25年度千葉県教育功労者として去る平成25年11月1日に千葉県教育委員会から「学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に数学科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。（千葉県教育委員会）」ということで表彰を受けました。

この表彰は、昭和25年から、学校教育をはじめ教育行政・学校保健・芸術文化・社会教育の5分野について、永年にわたり本県の教育・文化の発展に寄与した個人及び団体の功績を称え実施しています。（今年度で64回目になるそうです）

誠におめでとうございます。同窓会は母校出身者である渡邊先生の受章をここからお祝い申し上げ、規定によりお祝い金を平成25年11月の同窓会役員会の席上でお手渡し致しました。

### 渡邊校長の受賞のことば

このたびは千葉県教育委員会より教育功労者表彰をいただき、11月1日に表彰式に出席してまいりました。今回の受賞は日頃から御支援いただいている多くの皆様のお陰と感謝しております。この場をお借りして御礼申し上げます。

この賞に恥じることはないよう、これからもより一層精進してまいりますので、今後とも同窓会の皆様方からの御支援・御協力をよろしく申し上げます。



## 各地で同期会・支部会・地区会 活発に開催

各地で同期会・部活動OB会、クラス会などの活動が盛んになってきました。今回も各地から編集部にご寄せられたご寄稿をご紹介します。

### 第8回東雲会ゴルフコンペ

平成25年 7月15日（月）海の日 好天気の中、山武グ

リーンカントリークラブにて、同窓生、旧職員の先生方とともに東雲会交歓ゴルフコンペをいたしました。本年は人数が少なく少し淋しいコンペでしたが、参加者は大変元気にプレーし、来年は声を掛け合って参加者を増やそうと誓いあいました。

新ペリア方式での結果は、優勝は安川民恵氏（46/47 H20.4 N72.6）以下別表の通り）でした。

毎年恒例の“次々と新しいメンバーが生まれますように”との思いを込めた「生みたての卵と沢山の野菜」の予定でしたが、卵の価格が高騰したため、野菜のみの参加賞になりました。

ゴルフ場からも同窓生の鎌田英之氏（高校第33回S56卒）の肝いりで特別賞とプレーフィーに配慮していただきました。

終了後のパーティーでは、それぞれ母校での思い出や先生方との触れ合いなどが語られ次回の再会を約して散会しました。

平成26年も7月21日（月）海の日に開催いたします。  
多くの皆様のご参加をお待ちしております。

（幹事 澤田 繁信 高校第23回S46卒）

【優勝者 安川 民恵さんのコメント】

毎年楽しみにしているコンペです。新ペリア方式なので、私にもチャンスがあり優勝することができました。  
賞品は収穫したての野菜。大変美味しく頂きました。

東雲会 ゴルフコンペ 順位表（敬称略）

順位	氏名	GROSS	HDCP	NET	備考	順位	氏名	GROSS	HDCP	NET	備考
1	安川 民恵	93	20.4	72.6		2	今井 一臣	79	6.0	73.0	BG
3	井戸川 浩	98	24.0	74.0		4	矢代 正人	86	9.6	76.4	
5	木村 秀二	85	8.4	76.6		6	安岡 一昭	93	13.2	79.8	
7	澤田 繁信	102	20.4	81.6		8	高山 善則	99	16.8	82.2	
9	奥田 雅之	99	16.8	82.2	BB	10	岩崎 智代	112	25.2	86.8	



スタート前の勢揃い

お申し込みお問い合わせは

澤田（☎043-261-4528 ギャレックスチバ株式会社）まで。  
（ただし、お申込みお問い合わせの受付時間は昼間のみですのでご協力ください）



優勝者の安川さん（左）

書のグループ展“漕”開催される

「漕ぎだした自分の世界を表現しよう」を主旨に第3回「漕展」が平成25年10月24日(木)～29日(火)までの6



後列左から 内海 昭、石井希佳、白井 孝  
前列左から 湯浅昭弘、林 一己、林 秀一の各氏

日間、千葉市中央区“きぼーる”内 画廊ジュライで開催された。

漢字、かな、漢字仮名交り、篆刻、刻字、墨画と多分野にわたり、大作から小品までの35点が展示され、多くの来場者の目を楽しませ、盛況のうちに終了しました。

出品者は、林 一己（S41卒）、湯浅昭弘（S42卒）、林 秀一（S43卒）、白井 孝（S43卒）、石井希佳（S44卒）に加え内海 昭氏の5名でした。

今回は、平成26年10月17日（金）～21（火）にJR西千葉駅そばのギャラリー古島で開催予定です。

皆様方のご来場を出品者一同お待ちしております。

（林 一己 高校第18回S41卒）

美術部 OB会 第36回 暖流会展 開催さる

母校美術部OB有志による暖流会は平成25年8月25日より9月3日のあいだ、千葉市中央区“きぼーる”の画廊ジュライにて、会員30名の作品および美術部顧問だった故 草葉 章先生の賛助出品を得て開催されました。

この会は母校が千葉第三高等学校とよばれていた頃からの同窓生を含む60余名によって構成されております。

会員には、日展、院展などに出品する方々から趣味・カルチャーの方々まで幅広い層を持ち、それぞれ活発な絵画活動を展開しております。

会期中はおよそ200余名の参観者を得て、活気に溢れていました。平成26年は、8月28日より第37回を開催することを計画し、会員のみなさんと準備に入っています。

思い返せば卒業後、千葉市内の東電サービスセンター、奈良屋デパート、ショッピングセンターなどでの発表を含めると実に50年以上も続いていることとなります。メンバーの多くが県内や市内で美術教師として奉職あるいは企業で美術関連の仕事をしております。

その一方、戦後の発足といいながら最長老の先輩は70代後半にさしかかり、残念ながら幾人かが欠けていく現

実がありますが、その中でもこの集まりを継いでくれる次の世代の後輩を多く募り、将来の発展を期したいというのがわれわれの切なる願いです。

幸い平成25年4月に母校の美術顧問として着任した乳井亜樹先生は私たちの後輩で、在校生の活動の情報や暖流会との交流のきっかけができればと期待しております。きっとみなさん同窓生の中にも知己のかたがいらっしゃると思います。



是非次回の会期中お越しいただき旧交を温めていただくとともに、絵画活動に興味のある方々のご紹介をよろしく願い申し上げます。

(同窓会幹事 暖流会会長 戸塚 主税高校第13回S36卒)

### 暖流会事務局

〒266-0005 千葉市緑区誉田町1-780-39  
TEL 043-292-8625 小川方



### 高女2・3回生懇親会(昭和21年・22年3月卒)

平成25年6月16日(日) そごう千葉店 鮎やまにて懇親会をしました。

毎年恒例になっている懇親会ですが、今回はこれまで以上に電話やはがきそしてお会いして確認するなど準備しました。

しかし、年齢も80代半ばになると、参加したい気持ちは旺盛でも数時間の外出に堪える体調を整えるのは容易ではありません。

それでも、出席された方々は、1年ぶりの出会いに握手をしたり、肩を抱きあったりして再会を喜び合いました。

第1部は和気藹々に語りあううちに時が流れ、別れが

たく第2部は席を替え喫茶店で心行くまで談笑し、それぞれ高女時代の18歳に戻ったように元気復活の顔になりました。

“日々健康第一”と次回を約して解散しました。

<幹事からひとこと>

次回懇親会は、平成26年6月15日(日)12時30分からです。場所は今回と同じ、そごう千葉店地下1階フードコート内“鮎やま”です。

同期の皆さん、いつまでもお健やかに、一人でも多くの方が参加されます事を願っています。

(同窓会副会長 小林美代子 高女第2回生S21卒)

### 昭和34年卒(高校第11回) 3E 井下田ルームクラス会

平成25年10月10日(水) 千葉市中央区平九郎にて井下田ルームクラス会が開催された。

お元気な恩師井下田先生を囲み、自身の体調不良や親や配偶者の介護で手が離せない方々もいる中で、9名のクラスメートが集まりました。

<幹事からひとこと>

古稀を過ぎた自分たちが、昨年米寿を迎え、お祝いをさせていただいたお元気な先生から再び元気をいただきました。やはり何事も健康第一だと自覚させられたものです。

井下田先生には、これからもお元気で長生きしていた

だきたいと念願し、クラスのみんも健康に留意して毎年元気で会えるように改めて誓ったひと時でした。

(幹事 井戸川 浩)



## 野球部OB会通信

### 1. OB会総会

野球部のOB会総会が平成25年6月8日(土)に京成ホテルミラマーレで開催されました。

共田名誉会長(S32卒)をはじめ、藤代会長(S45卒)ならびに代議員11名出席のもと、昨年度の事業報告・決算報告を承認、今年度の事業計画案・予算案が決められました。

引き続き開催された懇親会では、5月24日に亡くなられた大森先輩(S32卒)に全員で黙祷をささげたのち、共田名誉会長の乾杯のご発声のもと、高橋(S51卒)の後任として京葉高校から赴任された飯生新監督、保護者会から久島副会長、林副会長の各氏のご挨拶をいただいて和やかに懇親を深めました。

### 2. 第35回千葉県高校野球OB野球大会

例年、9月に開催されるのですが、今年度は台風の影響で10月16日(月)になりました。今回は2回戦からの出場と、くじ運に恵まれた(?)のはいいのですが、問題は人数が集まるかどうかでした。しかし、春に卒業したばかりの影山君、鈴木君、日暮君をはじめ、15名の選

手が集まってくれました。

対戦相手は千葉工業高校で、序盤はその3人の活躍と、安西君(H4卒)の好投もあって6-0とリードしながら、中盤から投手陣がつかまり、8-18の7回コールド負けとなってしまいました。負けゲームとはいえ、若いメンバーが集まってくれたことに今後に大きな期待を持たせてもらえた大会でした。

平成26年度の大会では、今まで以上に多くの若いOBたちの参加を得て、楽しく野球ができることを期待しています。  
高橋 敏行(高校第28回S51卒)



乾杯のあいさつをする共田先輩。右は藤代会長

## 剣道部OB会 三紫会 総会・新年会開催

例年1月に、剣道部OB三紫会会員が集い、稽古会の後に総会と新年会を開催しています。

今年は、去る1月11日、母校剣道場に元顧問の本屋敷博、亘登志雄両先生にご参加いただきOB8名と現顧問、生徒15名による稽古を約1時間行いました。

OB稽古会は毎月母校の剣道場で行われていますが、やはり新年となりますといつもと気合が違うように感じました。

このように、毎月母校でOBが稽古できるようにご配慮いただいている校長先生をはじめ諸先生、顧問の先生方、並びに同窓会に感謝申し上げます。

さて、稽古後、場所を替え稽古でひと汗流しスッキリした様子OBや、もう剣道は卒業したというOB・OG(18~74歳)総勢37名が集い総会に移り、市川会長の再任と新役員の人事が承認され、市川会長・本屋敷先生の挨拶をいただき新年会に移りました。

久しぶりの会合で、思い出話や自分の子や娘よりも若い後輩への激励などに花が咲き、気がつけば3時間を越えてしまい、近況報告は割愛されてしまうほどでしたが、東高で剣道を学んだ同士が年代を越えて語り合えることに幸せを感じつつ、来年の再会を約束して散会となりました。  
(小川陽一郎 剣道部17期 高校第23回S46卒)



懐かしい歓談のひと時

## 山岳部OB会 シャロンアルペンクラブ 山行懇親会

シャロンアルペンクラブは、創部当時の山岳部OB会を中心メンバーとしておりますが、山や自然を愛する千葉東高(旧千葉三高)卒業生とゆかりのある方々も大歓迎で、安全で軽度のハイキングをモットーに活動してい

ます。

今回も、毎年2月に恒例になっている「ふるさとの山をのぼろう」の一環として、館山の一等三角点標高190mの大山に、年はとっても気持ちは若い高齢者とともに登ってきました。

千葉駅前から貸し切りバスで現地のふもとまで行き、ゆっくり登って頂上にたどり着き、卒業生の山本大先輩ご用意のスープを温め、リンゴのワイン煮をデザートに山上のランチを楽しみました。

下山後、待たせてあったバスに乗り、これまた恒例保田の漁師料理“ばんや”で入浴・会食をし、旧交を温めてまいりました。

母校からは山岳部顧問の原 邦夫先生と住吉信夫先生にもご参加いただき、近年の母校山岳部の現状と活躍ぶりなどをお聞きし、新鮮な刺激を受けました。

事務局では、現役も含め、OB・OGとともに里歩きや山歩きを楽しみたいと企画していますので、是非ご参加ください。詳しくは下記事務局まで。

(小川 秀樹 高校第21回S44卒)

## シャロンアルペンクラブ事務局

〒260-0801 千葉市中央区仁戸名町661-17 (小川方)

TEL 090-3311-5547

FAX 043-209-2250



## 昭和59(1984)年卒 卒業後30周年記念干支同期会

「懐かしみながら楽しむ時間は

あっという間に過ぎ去るもので…」

平成25年9月7日(土) ホテル ザ・マンハッタン(美浜区幕張)において、昭和59(1984)年卒業生により「卒業後30周年記念干支同期会」を開催することができました。

卒業生総数403人(普通科、衛生看護科)のうち、この日は県内はじめ首都圏からの参加者を中心に、中部、関西、遠くは北海道、沖縄、更にはシンガポールからの参加者を含め、109人が出席しました。

実行に当たっては、連絡先のわからない人たちの所在の確認が難航しましたが、部活動や同級の繋がりによる情報収集に加え、「Facebook」を活用したりするなどしました。

同期生は現在、金融業界、教育業界、IT業界等各界で活躍しています。また、一部は海外在住者や長期出張者もあり、同窓生の活躍の場は国内だけにとどまらず、グローバルに広がっています。

当日は、17時に開会宣言がなされ、幹事の島津勝仁さん(ラグビー部)による乾杯の音頭で歓談へと移っていききました。

歓談では、皆、真剣な表情で当時のことを思い出し、楽しみながら、語り合いました。それはまるで、30年前の18歳の時にタイムスリップしたようでした。これらの様子は、随時カメラで撮影され、当日欠席された同期生たちが後日閲覧できるようにもしました。

プロのカメラマンによる3年次の各クラス単位での撮影に引き続

き、誰からともなく、1年次クラス、2年次クラス、部活動などの任意の「くくり」でも撮影しました。

その後、この日のために用意したスライドがスクリーンに上映されましたが、このスライドは、卒業アルバムやその他各人が当時撮影したスナップ写真と、現在の千葉東高等学校の様子が撮影された画像とを織り込んであります。

このスライドの上映が始まると、皆スクリーンの前に集まり始め、笑顔で、あるいは驚きの表情を見せながら声を上げ、そして、食い入るようにそれを見つめておりました。

この会では、同期生ひとりひとりの活躍を披露し合うことによって、お互いの刺激や励みとなり、明日への活力に繋がりました。

また、みんなが今こうして活躍できるのは、在学中、勉強にスポーツにそして趣味等に真剣に取り組み、また、いろいろな困難にも真っ直ぐに体当たりして、高校生時代を過ごしたことにより築かれた高い知力、強い体力、そして、研ぎ澄まされた精神力の礎によるものと確信しております。

最後に全員で“乾杯のポーズ”で記念撮影し、司会が



閉会宣言をすると、期せずして盛大な拍手喝采がおこりいつまでも別れを惜しみました。

最後になりますが、突然の訪問にも関わらず、現在の

校内撮影を許可して下さった、現学校校長の渡邊茂通先生をはじめ、関係者の皆様へあらためてお礼申し上げます。  
(安蒜 和浩 第36回S59卒)

## 同窓会前会長 小西一三氏 逝く 同窓会にご寄付



平成25年11月21日 前同窓会長 小西一三氏の訃音に接しました。

氏は同窓会第3代永江 栄会長時の副会長として昭和33年就任後、昭和47年11月に第4代会長に就任(卒業生としては第2代になります)し、平成7年に引かれるまで23年間(副会長時代を含めると37年間)の長きにわたり、文字通り同窓会の基礎を築きあげてられました。

今日の同窓会活動の活性化をみると、小西前会長のご功績を思わずにはられません。心からのご冥福をお祈りいたします。

なお、小西前会長のご遺志ということで、ご遺族小西芳江様から同窓会に多額のご寄付を頂きました。

ここに記載して同窓会会員の皆様にお知らせ致しますとともに、ご遺志を活かして有効に使わせていただきます。 合掌

### ご遺族小西芳江様からのお言葉

主人は永きにわたり闘病生活をしてまいりました。千葉三高～東高校でお世話になり、現役の生徒さんや同窓生の活躍を会報シャロンの花や新聞紙上で知ることができた時は、二人で話題にして楽しみました。

5年の間に2度の脳梗塞を、その10年後に胆石と大腸の手術をし、最後は施設に1年半入所しましたが、去る平成25年11月21日に帰らぬ人となりました。本人は、最後まで

頭はしっかりとっていて、静かに話をしていました。

葬儀では、同窓生の皆様にも送って頂き、心より感謝申し上げます。同窓生の皆様のご自愛とご健勝を祈ります。

### 小西一三氏を悼む

#### 同窓会元会長 永江 栄氏の追悼のことば

昨秋11月21日に、小西一三さんが亡くなられたとの報を受けた時は、よもや亡くなるほどの病状とは思っていませんでしたので、本当にびっくりすると同時にショックをうけました。

小西さんは、いつも物腰がやわらかく、誰からも好かれ、穏やかで人望が厚く卒業直後から同窓会の幹事や副会長として会のために良く働いてくださいました。

私の後の2代目会長となられた後、転勤で千葉を離れていても、行事のある時はできうる限り駆けつけてくれ、その職責を果たしてくださいました。

病中も同窓会に寄せる思いは強かったと見えて、奥様を通じて同窓会へ多大なご寄付を頂いたとのことで大変ありがたくこころよりお礼申し上げる次第です。

ここ1、2年の間に、長らく副会長として会の運営にご尽力くださった高橋一郎さんや、幹事の長老としてご活躍くださった大森啓護さんも鬼籍に入られ、さびしい限りで残念でたまりません。

亡くなられた方々に対し、同窓会に尽くして下さったご功績に深謝申し上げ、ご冥福を祈りますとともに、ご遺族様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

(同窓会元会長 高女第2回S21卒)

## 追悼 大森 啓護 氏 (同窓会常任理事)

平成25年度の母校同窓会総会の前日、5月24日同窓会常任幹事の大森啓護氏が病気のため急逝された。

大森氏は家業経営のかたわら地域のスポーツ団体等の役員を複数兼ねるご多忙の中、平成10年から同窓会常任幹事に就任されました。

以来15年間終始一貫同窓会活動にご尽力され、特に近年経済的な面で同窓会を取り巻く厳しい環境を打破しよ

うと献身的な努力をされましたが、志途中で帰らぬ人となりました。

高校時代に野球で鍛えたあの頑丈な体躯で、役員会議での歯に衣を着せぬ忌憚のない言動も、今はもう目の当たりに接するすべもないと思います時、人生の無常を痛感し寂寥の思いに堪えません。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。 合掌

同窓会副会長 石橋康郎他 役員一同

### 消息

本会把握分のみ

逝去 五十嵐 栄 司 氏 逝去日 平成25年9月14日 享年61歳 同窓生水野伸一氏連絡

# 同窓会からのお知らせ

## 1. 卒業生の議員さんはほかにいませんか

前回5人の議員さんにコメントを頂きましたが、このたび同窓生初の市長誕生がわかりました。ほかにも同窓会が把握していない選良の方々、特に他県や外国などで議員をされている方をご存知でしたら同窓会事務局までお知らせ下さい。

## 2. 会報の発行方法が変わります

同窓生の皆様には、長年にわたり母校愛溢れるご厚志をいただき感謝に堪えません。

お陰さまで、会報「シャロンの花」も18号を数えるまでになりました。

しかしながら、この会報を皆様一人一人のお手元まで配布するためには、多額の送達コストがかかっており、会報発行費用総額の70%近くを占めております。

このことは、現在の寄付金の額では会報の発送コストが母校生徒の活躍を支援する費用を圧迫する構造となっていることを示しています。

寄付金額の増大が用途の節約かという問題になりますが、多くの方々がご寄付して頂けると総体的に改善します。同窓会としては、用途である学校施設充実や対外試合や部活動への支援額が縮小されてしまうことのないようにしたいと考え、平成23年発行の第15号から前年にご芳志をいただいた方に限り翌年発行の会報をお送りするという措置をとっていますが、これは同窓会財務が改善されるまで当分の間継続いたします。

母校は、進学指導重点校として国公立大学への進学率が県下一という実績のある学校ですが、教育方針として「文武両道」の名のもとに、勉強すなわち「知」ばかりではなく、人間として大切な「徳」や「体」についても部活動等を通してバランスよく教育し、各界のリーダーを育成していくという特色ある指導方針を持ち、かつ、実績もある高校であります。

母校を愛する卒業生の皆様には今回の措置についてご理解をいただくとともに、母校の発展に何卒ご協力いただきますようお願い申し上げます。

## 3. 住所・姓名などの異動・変更をお知らせください

卒業後、住所や姓名などが変更された場合には母校同窓会事務局までお知らせください。

毎年、会報の「宛先不明」返送数が増加しております。

せつかくの情報がお届けできませんのでよろしくご協力のほどお願い申し上げます。

尚、個人情報に関しては、会報発送、同窓会関係の照会・連絡以外には使用いたしません。

## 4. クラス会、同期会、部活OB会等の記録をお寄せ下さい

同窓会の最小単位はクラスです。まずは、担任の先生を中心にクラス会をまとめてください。

さらに水平展開して同期会へ発展させて下さい。また、部活OB会は異学年交流の垂直展開です。これも同窓会にとって大事な活動です。クラス会、同期会、部活OB会などの実施報告（写真歓迎）がありましたら、「会名」「時と場所」「参加人員」「幹事感想」「集合写真」など母校同窓会事務局まで毎年12月末までにお知らせ下さい。

（原稿・写真は原則としてお返しできませんのでご承知おきください）

また、「集まりの予告」でも結構です。「シャロンの花」は毎年3月に発行されますので、その後に計画されている集まりの予告、呼びかけをすると効果的です。（原稿は母校同窓会事務局まで）

## 5. 学校訪問について

同期会やクラス会を企画している幹事さんが、プロジェクター投影用に「思い出の校舎の写真を撮りたい」と、母校をお訪ねいただくことが増えてまいりました。事務室では「母校としては大歓迎ですが、休日の訪問は対応する事務職員が原則としておりませんので、極力平日に、あらかじめご連絡の上、おこしいただくと助かります。」とのことでした。

なお、学校敷地内は全面禁煙ですので、よろしくご協力のほどお願いいたします。

## 6. 同窓会ホームページが開設されました

同窓会では会員の皆さんからのご希望もあり、ホームページの開設を検討してまいりましたが、このほど簡易ホームページを開設する運びになりました。

URL <http://www.dosokai.ne.jp/chibahigashi/>

なお、これとは別に母校のホームページも一新されましたので母校の状況もご覧下さい。

URL <http://www.chibahigashi>

## 編集後記

第18号をお届けいたします。

今回は前会長、常任幹事の訃音が続き、事務局も暗い雰囲気でしたが、世の中の景気が少し上向いてきたような明るい話題もありました。

私たちは、同窓会は学校を縁とする「絆集団」なのだといつも言ってきましたし、そのための仕掛けを色々作ってもきました。

クラス仲間や同期生との「同学年交流」、部活OB会などの「異学年交流」、そして先生を囲む「師弟間交流」のいわゆる「三交活動」を推進し、それら三交を一堂に会したのが「同窓会総会後の懇親会」です。

今年も是非総会にお出掛けいただき東高健児の心意気に触れてください。こうした活動が活発になればなるほどみんな元気になりますね。どうか、これからも「シャロンの花」をご愛読下さい。

（編集委員一同）